
平成 23 年度
佐渡市教育委員会

佐渡学センター年報

第 3 号

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

佐渡学センター 所長 渡 邊 剛 忠

平成23年度の佐渡学センターの活動がまとめられた「佐渡学センター年報 第3号」が刊行される運びとなりました。はじめに23年度に実施された特別企画展についてふれてみたいと思います。

「新指定文化財公開展

佐渡国絵図と佐渡金銀山絵巻」

平成23年3月に県の指定を受けた「佐渡国絵図」と佐渡市の指定となった「佐渡金銀山絵巻」が、同年7月19日から9月30日まで、佐渡市立両津郷土博物館において公開展示されました。

絵図は約1m四方の和紙に墨と朱筆で描かれており、天和年間（1681～1684）前後に製作されたと推定される江戸時代の公式絵図と考えられているものです。同時に展示された相川金銀山における採鉱、精錬、小判製造等の一連の作業工程が描かれた絵巻（佐渡には、こうした貴重な絵巻が100点以上残されており、数の多さで類を見ない。）は絵図と共に世界文化遺産登録をめざす佐渡市にとっては、当時の生活を知る上で貴重な資料となっています。

「佐渡の裂織^{さきおり}作品展」

新穂歴史民俗資料館（平成23年10月8日から11月8日まで）と相川技能伝承展示館（平成24年3月1日から3月31日まで）の2会場で実施されました。

寒い地方の暮らしに欠くことのできなかった裂織、そして農民芸術の一つであるともいわれる裂織は、佐渡の各地で、また、岩手・秋田県下、信州地方等を中心に多くの皆さんによって趣味として取り組まれており、全国的にも注目されてきました。相川技能伝承展示館では、多くの旅人や修学旅行に訪れた児童・生徒たちが裂織体験に興味深く取り組み、毎年たくさんの感想文が寄せられています。

「寄贈資料展 佐渡を見つめた二人

～本間寅雄・持田千秋～」

市立両津郷土博物館において、佐渡市相川出身の両氏が生涯かけて集めた書籍や出版著書、郷土

資料、調査資料等が両家の遺族のご厚意によって寄贈されました。寄贈された著書や膨大な資料は佐渡研究にとっていずれも貴重なもので、本間文庫・持田文庫として大切に保管することになりました。その一部を公開展示しました。

本間氏のライフワークであった佐渡における「世阿弥」の研究資料が瀬戸内寂聴氏の著書「秘花」の誕生に、また、佐渡金銀山の研究が吉村 昭・津村節子夫妻の著書と深く関わりがあるなど、改めて本間氏の研究の深さと交友の広さを実感することができました。

ところで、この春休みに福島県の各地から放射能のため、佐渡に滞在（疎開）していた児童・生徒20数名を、ジオパーク推進室の職員と共に小木半島を案内する機会がありました。

小木半島は、海底火山でできた名勝地として多くの旅人が訪れています。しかし、今から210年前の1802年の10月にはマグニチュード6.5～7.0の小木地震が発生し、多くの家屋が倒壊して19人が亡くなっています。大地の恵みと災害は一体の関係にあることを学んでもらうことも小木半島を案内した目的の一つでもありました。

平成18年に教育基本法が改正され、社会教育分野においても新しい時代の博物館のあり方が問われています。かつての「集めて、伝える」従来の基本的な活動に加えて、市民と共に「地域や資料を探求」し、その成果を共に分かちあい、知の楽しみを共有できる文化活動が求められています。

豊かな自然や歴史・文化の残る島、その多くの遺産・資産をもとに、世界文化遺産、世界農業遺産、そして世界ジオパーク（世界地質遺産）として、世界に発信できる島、この多様性に富む島を自信と誇りをもって発信し、共に学び合える仕組みづくりと拠点づくりが求められています。

佐渡学センター年報第3号の刊行にあたり、ご尽力いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。

目次 Contents

刊行にあたって

I 佐渡学センター設置までの経緯	… 1
II 管理運営の状況	
1 組織	… 3
2 施設の状況等	… 4
3 平成 23 年度入館者の状況	… 9
III 事業内容	
1 文化・学芸事業内容	
1.1 常設展示	… 10
1.2 企画展示	
1.3 収集保管事業	
1.4 調査研究事業	
1.5 支援、助成事業	
1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携事業	
1.7 新潟大学図書館との連携業務	
1.8 刊行物	
1.9 イベント	
1.10 その他（キャンペーン協賛）	
2 交流普及事業概要	… 18
2.1 視察・団体受け入れ状況	
2.2 出前授業・講演等	
2.3 職場体験	
2.4 学芸員実習受け入れ	
IV 関係団体	… 23
1 佐渡市博物館協議会	
2 佐渡植物園協議会	
V 日誌抄	… 24
VI 佐渡に関する図書・論文 平成 23（2011）年分	… 28

編集後記

I 佐渡学センター設置までの経緯

1 沿革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設立することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役

所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 継仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように務めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
主 事 滝川 邦彦
研究員補助 ハ木千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

【重点施策】

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存、継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

所	長	石瀬	佳弘
次	長	北見	継仁
情報指導員		池田	雄彦
文化・学芸係長		野口	敏樹
主	事	山口	忠明
主	事	宇治	美徳
主	事	須藤	洋行
主	事	滝川	邦彦

【平成 22 年度】

【重点施策】

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所	長	渡邊	剛忠
次	長	北見	継仁
情報指導員		池田	雄彦
文化・学芸係長		野口	敏樹
主	事	山口	忠明
主	事	須藤	洋行
主	事	滝川	邦彦

II 管理運営の状況

【佐渡学センター運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- ・伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ・ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- ・新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

【博物館・資料館（文化学芸係）運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務の推進と博物館・資料館所蔵品のデータベース化を進める。
- ・特別展、企画展の開催と講座・教室・講習会の拡充を図る。
- ・博物館・資料館の統合再編を進め、より充実した体制による振興を図る。

◎調査研究事業

- 佐渡島内に所在する有形・無形の文化財の調査・研究を行い、その成果を情報発信する。

◎伝統文化等保存支援事業（補助事業）

- 佐渡島内の伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体等の活動にたいして補助事業等を実施し、伝統文化の継承・育成・保存を図る。また、指定文化財の修復事業を行い保護を図る。

◎博物館管理運営事業

◎歴史・民俗資料館管理運営事業

- それぞれの博物館・資料館が特徴をいかりながら連携し、佐渡の歴史・文化・自然を広く市民・研究者・観光客に紹介し、情報発信を行う。

◎佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務

◎新潟大学人文学部関連事業

平成 22 年に連携協定を結んだ新潟大学人文学部等との協働事業を進め、その成果の情報発信を行う。

1 組 織

所 長	渡邊 剛忠
次 長	本間 俊一郎
情報指導員	池田 雄彦
文化学芸係長	野口 敏樹
主 任	滝川 邦彦
主 任	須藤 洋行
主 事	山口 忠明
雇 員	本間 裕亨（研究員補助員）
雇 員	宇田美智子（相川郷土博物館）
雇 員	佐々木妙子（佐渡国小木民俗博物館）
雇 員	石塚しのぶ（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	佐々木さゆり（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	大地 仁子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	渡辺 啓子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	河村 厚子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	山本加奈子（相川技能伝承展示館）
雇 員	山本 悦子（相川技能伝承展示館）
雇 員	石見 真理（相川技能伝承展示館）
雇 員	小杉 栄枝（相川技能伝承展示館）
雇 員	米津サチエ（相川技能伝承展示館）
雇 員	中村 政春（佐渡国小木民俗博物館）
雇 員	本間 公明（両津郷土博物館：平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日）
雇 員	本間 芳剛（両津郷土博物館：平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日）
雇 員	井戸 徳子（佐渡国小木民俗博物館：平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日）
雇 員	坂口 秋江（史跡佐渡奉行所跡）平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）
雇 員	齋藤 鈴香（史跡佐渡奉行所跡）平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）
雇 員	山本 淳子（史跡佐渡奉行所跡）平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

2 施設の状況等

2.1 両津郷土博物館

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和56年度



2.1.1 施設概要

場 所 佐渡市秋津1596

敷地面積 49,590㎡

建築面積 1,373.59㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建、地下1階

駐車場 約50台

2.1.2 総事業費

515,912千円

2.2 相川郷土博物館

事業名 相川小学校80周年記念事業

開館年度 昭和31年度



2.2.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20

敷地面積 (総面積) 3,150㎡

建築面積 (総面積) 1,055.16㎡

構造・階数 木造平屋建(一部2階建)

御料局佐渡支庁跡(2階建) 172.24㎡

展示室(1階) 244.89㎡

特別展示室・準備室 84.60㎡

事務室ほかその他 117.19㎡

有田八郎記念館 116.76㎡

収蔵庫 198.00㎡

名誉町民資料館 55.48㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.2.2 総事業費

不明

備考 明治22年建築。相川小学校80周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和31年7月に開館した。

2.3 相川文書館

建設年度 昭和51年度(移築)



2.3.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20
(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66㎡

構造・階数 木造平屋建

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.3.2 総事業費

移築費 4,000千円

備考 大正2年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和51年に相川文書館として現在の場所に移築された。

2.4 相川技能伝承展示館

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和60～61年度



2.4.1 施設概要

場 所 佐渡市相川北沢町2番地

敷地面積 2,271㎡

建築面積 712.17㎡

構造・階数 鉄筋平屋建（一部2階建）

陶芸実習室 109.31㎡

裂織り実習室 93.57㎡

資料展示室 109.31㎡

窯小屋・登り窯 49.68㎡

工房 102.69㎡

ホール 137.75㎡

事務室ほかその他 109.86㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.4.2 総事業費

81,532千円

2.5 史跡佐渡奉行所跡

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成7～18年度



2.5.1 施設概要

場 所 佐渡市相川広間町1番地1

敷地面積 18,542㎡

建築面積 1,541.6㎡

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7㎡

御役所 990.0㎡

御門番所 32.0㎡

御普請方役所 140.4㎡

勝場 344.5㎡

駐車場 約20台

2.5.2 総事業費

2,387,984千円

2.6 佐渡国小木民俗博物館

2.6.1 佐渡国小木民俗博物館（旧館）



2.6.1.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木270-2

敷地面積 （総面積）11,192㎡

（旧館）9868.96㎡

建築面積

延床面積 2,930

構造・階数 木造平屋建て

駐車場 10台

2.6.1.2 総事業費

19万円

備 考 大正9年に建てられた木造校舎をそのまま
利用し、昭和47年6月に開館した博物館。

2.6.2 佐渡国小木民俗博物館（新館）

事業名 農村地域農業構造改善事業
（自然活用型）
建設年度 昭和56～59年度



2.6.2.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 627.52㎡
延床面積
構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建て
駐車場 旧館と共用 10台

2.6.2.2 総事業費

87,194千円

2.7 千石船展示館

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業
建設年度 平成8～9年度



2.7.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 695.52㎡
延床面積
構造・階数 木造平屋建て

駐車場

2.7.2 総事業費

135,366千円

2.8 海運資料館

（南佐渡離島開発総合センター内2F）

事業名 離島開発総合センター建設事業
建設年度 昭和54～55年度

2.8.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1428㎡
建築面積 1616.13㎡
延床面積 500㎡
構造・階数 鉄筋コンクリート3階建て



（一部中4階）

駐車場 10台

2.8.2 総事業費

236,199千円

備考 平成22年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

2.9 幸丸展示館

事業名 日本宝くじ協会助成事業、町づくり特別対策事業

建設年度 昭和59年度

2.9.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1837㎡
建築面積 303.65㎡
延床面積 206㎡



構造・階数 鉄骨造り 1 棟
駐車場

2.9.2 総事業費
52,000 千円

2.10 佐渡植物園

建設年度 昭和 23 年度



2.10.1 施設概要

場 所 佐渡市羽茂飯岡 550-6
敷地面積 59,671 m² (施設概要より)
※ (総面積) 65,040 m²

建築面積

(管理棟) 35 m²
(作業棟) 19.87 m²
(温 室) 58.32 m²

延床面積 55 m²

構造・階数 鉄骨造り 1 棟

駐車場

2.10.2 総事業費
不 明

2.11 新穂歴史民俗資料館

建設年度 昭和 62 年度



2.11.1 施設概要

場 所 佐渡市新穂瓜生屋 492
敷地面積 2,348 m²
建築面積 922 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建
駐車場

2.11.2 総事業費

250,094 千円

2.12 金井歴史民俗資料収蔵庫

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金
(国)、文化保存事業費補助金 (県)

建設年度 昭和 50 年度

2.12.1 施設概要

場 所 佐渡市泉甲 375-1
敷地面積 約 2,000 m²
建築面積 収蔵庫 144 m²
展示館 136 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建
駐車場



2.12.2 総事業費

15,010 千円

2.13 明治記念堂（開導館）

建設年度 明治 35 年度



2.13.1 施設概要

場 所 佐渡市千種丙 1 5 4

敷地面積 1,055.2㎡

建築面積 72.24㎡

構造・階数 木造平屋建

2.13.2 総事業費

明治記念堂 不明

開導館 4,100 千円（昭和 50 年復原）

3 平成23年度入館者の状況

	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	197	294	326	823	742	83	158	0	8	250	2,631
5月	230	620	545	2,102	1,857	202	145	0	19	350	5,720
6月	186	2,937	2,891	3,989	2,300	91	503	0	11	500	12,908
7月	204	1,020	1,153	2,712	3,193	219	145	0	11	330	8,657
8月	594	584	696	3,672	3,822	380	290	0	68	300	10,106
9月	429	736	656	2,055	1,770	209	253	0	16	360	6,124
10月	185	273	125	1,641	2,019	234	880	0	28	300	5,385
11月	136	104	87	1,245	680	32	368	0	7	230	2,659
12月	20	21	10	72	51	8	0	0	0	110	182
1月	6	3	33	52	23	1	0	0	0	50	118
2月	107	17	70	67	57	14	28	0	0	10	360
3月	112	284	201	647	443	40	172	0	0	40	1,899
入館者 年度計	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	2,830	56,749

※総計には、佐渡植物園入場者を含みず。

平成16年度	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
平成17年度	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
平成18年度	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
平成19年度	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
平成20年度	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,106	3,445	123	282		55,362
平成21年度	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	4,360	63,677
平成22年度	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	3,650	56,886
平成23年度	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	2,830	56,749

Ⅲ 事業内容

1 文化・学芸事業内容

1.1 常設展示

1.1.1 両津郷土博物館

1.1.1.1 事業趣旨

昭和53年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また、生涯教育の一拠点として、昭和57年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に3万点以上の資料が収蔵されている。

1.1.1.2 展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第1～第3展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

また、エントランスでの新収蔵資料の展示や特別展示室を利用した企画展示を随時行っている。

1.1.1.3 常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.1.4 資料展示替え

常設展示については現状維持であったが、新収蔵コーナーにて『空也上人立像』を展示した。

1.1.1.5 企画展示

「新指定文化財公開展 佐渡国絵図と佐渡金銀山絵巻」の開催

平成23年3月に県の指定を受けた「佐渡国絵図」と佐渡市の指定となった「佐渡金銀山絵巻」が、同年7月19日から9月30日まで、佐渡市立両津郷土博物館において公開展示されました。

1.1.2 相川郷土博物館

1.1.2.1 事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に明治22年三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い鉱山資料と共に三菱より譲渡され、昭和31年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心に約800点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）がある。

1.1.2.2 展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女、終戦時に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

1.1.2.3 順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため巡回するようにすることができないため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

1.1.2.4 常設展示の保守

敷地内や建物の一部が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成23年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

1.1.2.5 展示資料替

佐渡博物館で開催している佐渡金銀山展に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

1.1.2.6 企画展示

相川出身で江戸時代の絵師「石井夏海・石井文海親子」

の資料を特別展示室で公開している。

公開にあわせて資料を再調査・デジタル化し、複製を中心に展示している。

1.1.3 相川文書館

1.1.3.1 事業趣旨

昭和45年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和48年に旧第四銀行相川支店（大正2年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を無償提供してもらい、昭和50年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。

1.1.3.2 展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。

1.1.3.3 常設展示の保守

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

1.1.3.4 展示資料替

収蔵されている貴重資料の台帳を現在作成している。

1.1.4 相川技能伝承展示館

1.1.4.1 事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入を主目的に昭和61年に開館した。

1.1.4.2 展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

1.1.4.3 常設展示の保守

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため火災に対する注意喚起を徹底しており、

毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.4.4 展示資料替

展示している陶芸作品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

1.1.5 史跡佐渡奉行所跡

1.1.5.1 事業趣旨

平成6年度に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成13年度に御役所を江戸期の技術で復元公開し、平成16年度には金銀山のガイダンス施設となる勝場の公開を開始した。

1.1.5.2 展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では発掘調査で出土した遺物や、絵巻物などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山白を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡国相川ひなまつり・お茶会」「宵の舞」「鉱山祭り」会場として解放している。

1.1.5.3 順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

1.1.5.4 常設展示の保守

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.6 佐渡国小木民俗博物館

1.1.6.1 事業趣旨

大正9年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和47年6月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数30,000点余り。うち「南佐渡の漁撈用具1,293点」「船大工道具1,034点」は国

の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政5年（1858年）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板版（設計図）をもとにし実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

1.1.6.2 展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示館には、全長23.75mの白山丸を展示しており船内の見学もできる。

1.1.6.3 順路案内

当館は旧館と展示館は通路がつながっているが新館が離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

1.1.6.4 常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

23年度は、4～9月までに博物館周辺の草刈りを6回、樹木の剪定を12月にそれぞれ行った。消防用設備等総合点検は2回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

1.1.6.5 資料展示替

特になし

1.1.7 海運資料館

1.1.7.1 事業趣旨

離島であり、特に半島状の三方海に面したこの地に生まれ、毎日海を眺めながら育ち、そして海に生きてきた幾星霜に亘る先人達にとって、時代により方法の違いはあったが、絶えず行われてきた“海運”によって、本土と交流することが今では想像できないほど大切なことだった。荒海に左右されながら、離島の宿命を甘受し海を征服して生きてきた人々の知恵と根性は驚く

ことばかりである。この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民のくらしとの係わり合いを資料展示している。

また、発掘調査によって明らかとなった長者ヶ平遺跡を中心に考古資料を展示している。かつては海を介して運ばれた縄文土器や黒曜石などの資料をとおして海上交易が盛んであった古代の海運を紹介している。

1.1.7.2 展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近世の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

1.1.7.3 資料展示替

特になし

1.1.8 幸丸展示館

1.1.8.1 事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往来を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

1.1.8.2 展示構成

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内看板の解説や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（沈状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる市民に身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

1.1.8.3 資料展示替

特になし

1.1.9 佐渡考古資料館

平成 22 年度で閉館し、資料の一部は海運資料館にて展示。

また、館内跡地には日本アマチュア秀作美術館が移転した。

1.1.10 佐渡植物園

1.1.10.1 事業趣旨

- ① 佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。
- ② 青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。
- ③ 文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

1.1.10.2 展示構成

北緯 38 度線によって二分されている佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～7 月上旬が見頃である。

1.1.10.3 山野草展

来館者に四季を感じて頂くため、当園では隣接しているクアテルメ佐渡（温泉施設）を会場に春の山野草展（5 月）、ウチョウラン展（7 月）、大文字草展（10 月）、雪割草展（3 月）の 4 回の山野草展を開催している。

1.1.10.4 園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

1.1.10.5 資料展示替

特になし

1.1.11 新穂歴史民俗資料館

1.1.11.1 事業趣旨

当初は、大野ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

1.1.11.2 展示構成

まず 1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形、のろまん形に関する資料が展示されている。2 階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

1.1.11.3 常設展示の保守点検・補修

平成 22 年度より、地元の裂き織りサークルに受付業務の委託を行っている。受付以外の施設保守については、職員が随時点検することで補完している。

1.1.11.4 資料展示替え

常設展示については、基本的に展示替えを行っていない。

1.1.12 金井歴史民俗資料収蔵庫

1.1.12.1 事業趣旨

広く佐渡国仲平野における農耕文化資料等の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉が両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約 2,000 点、考古資料約 4,000 点を収蔵している。平成 23 年度から資料館としての開館は行っていない。

1.1.13 明治記念堂（開導館）

1.1.13.1 事業趣旨

明治27年から28年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士40余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治29年に、金井地区得勝寺の住職である本莊了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治35年に、明治記念堂と開導館の落成式が開催された。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

1.2 企画展示

1.2.1 両津郷土博物館

新指定文化財公開展 佐渡国絵図と佐渡金銀山絵巻
会期：平成23年7月19日（火）～10月10日（月）
主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
内容：平成23年3月に「佐渡国絵図」が新潟県の指定文化財となった。

天和年間（1681～1684）に制作されたこの絵図は佐渡を描いた公式の絵図としては最古級のもので、江戸時代前期の佐渡一国の地理を明らかにするものである。

文化財指定を機に江戸時代の鉱山絵巻等も併せて展示し、佐渡金銀山を中心とした当時の佐渡の経済状況を考える機会とした。来場者1221名。

1.2.2 佐渡植物園

1.2.2.1 春の山野草展

会期：平成23年5月7日（土）～5月8日（日）
主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
会場：クアテルメ佐渡
内容：出展者10名、展示185鉢、来場者126名

1.2.2.2 ウチョウラン展

会期：平成23年7月2日（土）～7月3日（日）
主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
会場：クアテルメ佐渡
内容：出展者10名、展示180鉢、来場者118名

1.2.2.3 大文字草展

会期：平成23年10月22日（土）～10月23日（日）
主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
会場：クアテルメ佐渡
内容：出展者9名、展示154鉢、来場者92名

1.2.2.4 雪割草展

会期：平成24年3月24日（土）～3月25日（日）
主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
会場：クアテルメ佐渡
内容：出展者13名、展示301鉢、来場者340名

1.2.3 新穂歴史民俗資料館

会期：平成23年10月8日（土）～11月8日（火）
主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
会場：新穂歴史民俗資料館
内容：島内の裂き織り愛好者が自作品を出品・展示した。来場者約900名

1.2.3 相川技能伝承展示館

1.2.3.1 裂き織り作品展

会期：平成24年3月1日（木）～3月31日（土）
主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
内容：島内の裂き織り愛好者が自作品を出品・展示した。来場者約700名

1.2.4 史跡佐渡奉行所

1.2.4.1 ひな人形特別展示

会期：平成24年3月1日（木）～3月20日（火）
主催：佐渡國相川ひなまつり実行委員会
内容：佐渡國相川ひなまつり参加企画として実施した。復元建物内に佐渡国小木民俗博物館所蔵の享保雛等を展示した。

期間中の3月18日（日）には、裏千家淡交会佐渡支部によるお茶会を開催した。来場者228名

1.3 収集保管事業

収集保管事業

○佐藤利夫氏文庫（５月）（寄贈）

○竹細工 水囊（７月）（寄贈）

○あば縄まきとり器（１２月）（寄贈）

○北條家資料（１２月）（寄贈）

○永井家資料（１月）（寄贈）

1.4 調査研究事業

1.4.1 ホームページ更新

随時

1.4.2 調査回答事業（通年）

郷土博物館は特に歴史文化の情報センターとしての役割も多く、関係機関・市民・児童生徒・県内外にお住まいの方々から、幅広いお問い合わせをいただいている。

調査研究・観光等々目的も多岐にわたるが、電話での回答やFAX等での資料提供をさせていただいた。

1.4.3 寄贈・寄託資料デジタルアーカイブ化

および目録作成

1.4.3.1 本間寅雄文庫

・図書類

郷土図書を中心として（広報紙、パンフレットを含む）
654 冊

・定期刊行物

越佐研究、月刊サード、佐渡郷土文化、地方史研究、全国良寛だより、新潟良寛研究会会報、金属鉱山研究会会報など
609 点

・ファイル・写真資料など

取材ノート、研究関係史料、ファイル、写真など
1,568 件、ネガ類 19,659 コマ

・書画類

御札、仏画曼荼羅など
40 点

1.4.3.2 持田千秋文庫

・図書類

郷土、歴史、民俗関係図書、観世流謡本、宝生流謡本、など
1,071 件

・定期刊行物

佐渡郷土文化、佐渡史学、越佐研究、いもせ（佐渡文学）、俳句紙瀧、全国良寛だより、特定局長会誌「佐渡」「しんえつ」など
655 件

・ファイル等

新潟日報切り抜き、全佐渡お花見俳句大会関係、佐渡博物館関係、相川町史関係、公民館講座関係等の資料など
398 件

・観光パンフレット等

佐渡鉱山、相川民宿・ホテル、ロードマップ、定期観光などのパンフレット、団扇、など
257 件

1.4.3.3 牛窪弘善文庫

修験資料、法具類、郷土図書、書画類

牛窪弘善宛封書・はがき・名刺など
2,087 点

1.4.4 歴史史料のデジタルアーカイブ化

・新保永井家史料

・囃口家所蔵 柴田収蔵「真蹟円形世界地図」

・笹井治右衛門新屋家所蔵 伊能忠敬関係資料

・佐渡総合高校「橘鶴堂文庫」金銀山関係史料
21 件（計 1,530 頁）

・柴田収蔵 代烟筆記 全 11 巻

・ゴールデン佐渡所蔵古設計図

佐渡鉱山坑内平面断面図、ほか

・相川郷土博物館所蔵「佐渡全図」、「新潟県管内県道里程実測図 全」

・島根県石見市個人所蔵絵巻 10 件（12 本）

・島根県石見銀山世界遺産センター所蔵絵巻
1 件（2 本）

・新潟大学所蔵絵巻 1 件

・佐渡島内個人所蔵絵巻 1 件

・佐渡市新規購入絵巻 2 件

・木崎神社 船絵馬（社務所内）3 件

・佐渡鉱山繁栄祈念史料 1 件

1.4.5 資料撮影・図録化

・佐渡博物館所蔵 関の植物・昆虫化石 318 点

・新穂歴史民俗資料館・佐渡博物館展示新穂玉作遺跡出土品

・両津郷土博物館・佐渡博物館所蔵 海中出土須恵器

・遠藤氏所蔵化石

1.5 支援、助成事業

1.5.1 伝統文化等保存支援補助事業

- ・体験学習事業 金井生き活き塾「ふるさと芸能体験」(能楽・人形芝居・やわらぎ体験教室) 30 名参加、金井能楽堂
- ・後継者育成事業 佐渡鷺流狂言研究会 通年 10 名 真野ふるさと会館等
- ・後継者育成事業 高千中学校「文弥人形伝承教室」 通年 10 名 高千中学校等
- ・特別活動支援 「羽茂高校民謡同好会」(生徒 26 名)(富山県砺波市、全国高等学校総合文化祭参加)

1.5.2 佐渡博物館との事業連携

企画展後援等

1.5.3 佐渡おけさ振興連絡協議会 「佐渡おけさ伝承事業」 事務局補助

1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携事業

1.6.1 シンポジウム「佐渡の民俗文化 語り・芸能・祈り」

平成 23 年 11 月 3 日(文化の日)

金井能楽堂 260 名

男春駒 佐渡国草の会

女春駒 畑野春駒愛好会

文弥人形 真野中学校

民話語り 赤泊民話の会

基調講演

福田 アジオ(国立歴史民俗博物館名誉教授)

「民俗と地域 民俗から何がわかるのか」

常光 徹(国立歴史民俗博物館教授)

「語りの魅力 佐渡の昔話」

神田 より子(敬和学園大学教授)

「信仰と芸能」

パネルディスカッション

1.6.2 第 2 回佐渡学セミナー

平成 24 年 3 月 24 日(土)

新穂トキのむら元気館 80 名

松井克浩(新潟大学人文学部教授)

「災害への地域の備え 近年の地震災害と佐渡」

堀 健彦(新潟大学人文学部准教授)

「地図資料から見た佐渡社会 明治中期作製の更正図の遺存と保存」



パネルディスカッション

1.6.3 新潟大学国際課

平成 23 年 5 月 8 日(土)～5 月 9 日(日)

史跡佐渡奉行所跡、佐渡国小木民俗博物館、伝統的建造物群保存地区「宿根木」

新潟大学留学生 135 名

1.7 新潟大学図書館との連携業務

○新潟大学図書館と佐渡市教育委員会の実務者会議

平成 23 年 6 月 3 日



講演の様子

佐渡島開発総合センター 第 2 研修室

・活動報告

平成 22 年度新潟県地域共同リポジトリ活動報告

平成 22 年度佐渡市立中央図書館との連携協力活動報告

・審議事項

平成 23 年度新潟県地域共同リポジトリ活動について

平成23年度佐渡市立中央図書館との連携協力活動
について
最近の各館の活動状況について（情報交換）

（主催：佐渡市観光商工課国際観光・誘致室）
期 間：平成23年4月1日（木）
～平成24年3月31日（木）

1.8 刊行物

- 『佐渡学センターだより』第4号（電子出版）
- 『佐渡学センターだより』特集号（電子出版）
- 『佐渡学センターだより』第5号（電子出版）
- 佐渡学センター 年報 第3号

1.9 イベント

1.9.1 白山丸まつり 共催事業



実務者会議

日時：平成23年7月30日（土）17:00～
前夜祭
平成23年7月31日（日）9:00～
本祭り

主催：白山丸友の会、佐渡市教育委員会（共催）

会場：佐渡国小木民俗博物館千石船展示館前

内容：平成10年春、日本で最初に完全復元された
千石船「白山丸」が年に一度、展示館から外
に出て帆を揚げるまつり。前夜祭では和太鼓
集団「鼓童」の公演と地元の子ども達による
小木おけさの披露、本祭りでは、帆を張った
白山丸の下で「ちとちんとん」などの郷土芸
能が披露された。当日は600人を超える人が
訪れた。

1.10 その他（キャンペーン協賛）

1.10.1 首都圏佐渡連合会員限定「ふるさと再発見の旅」

1.10.2 「佐渡観光・検定」合格者優待特典

（主催：佐渡観光・文化検定実行委員会）
期 間：平成23年4月1日（木）
～平成24年3月31日（木）

1.10.3 「東日本大震災被災者支援」

（担当：佐渡市役所総務課）
期 間：平成23年度

1.10.4 「佐渡の日」2012 キャンペーン

（主催：佐渡観光協会）
期 間：平成24年3月3～5日、10
～12日、17～21日、24～26日

1.10.5 佐渡トキツデーウォーク2011

（主催：佐渡トキツデーウォーク実行委員会）
期 間：平成23年10月22日（土）～23日（日）

1.10.6 佐渡友好交流事業

（新潟・長野県8市と姉妹都市の小中学生対象）
（主催：佐渡市観光商工課国際観光・誘致室）
期 間：平成23年7月16日（土）～8月31日（水）

1.10.7 「はなが甲子園」版画制作・取材協賛

（主催：全国高等学校版画選手権大会実行委員会）
期 間：平成24年3月17日（土）～21日（水）

2 交流普及事業概要

2.1 視察・団体受け入れ状況

2.1.1 両津郷土博物館

月日	曜日	団体名	人数
4月28日	木	両津小学校	38
4月28日	木	金井小学校	63
5月2日	火	前浜小学校	11
5月24日	火	佐渡観光協会	6
5月27日	金	河崎小学校	13
6月18日	土	新潟ウォーク	40
8月24日	水	両津地区高齢者学級	26
9月8日	木	五泉南小学校	50
9月13日	火	金井吉井小学校	20
9月13日	火	両津吉井小学校	65
9月15日	木	五泉東小学校	10
10月1日	土	駒沢大学	21
10月16日	火	加茂小学校	45
11月1日	火	佐渡フィルムコミッション	20
12月7日	水	県立歴史博物館共同調査班	4
12月16日	金	佐渡汽船観光研修	5
2月7日	火	加茂小学校	26
2月7日	火	佐渡職業訓練校	5
3月11日	日	産業考古学会巡検	12
3月21日	水	湊保育園	33
合 計			513

2.1.2 相川郷土博物館

月日	曜日	団体名	人数
4月6日	水	金井小学校下見	4
4月13日	水	職業訓練校	11
4月16日	土	小出小学校下見	4
4月18日	月	加茂小学校下見 相川中学校下見	3
4月19日	火	前浜中学校	3
4月21日	木	相川中学校	37
4月22日	金	ホテル万長	1
4月27日	水	新穂中学校	4
4月30日	土	佐渡市観光商工課	2
5月15日	日	スポニチ佐渡	7
7月10日	日	高野市長他視察	10
7月15日	金	佐渡特別支援学校	20
7月19日	火	グリーンシグマ	7
8月19日	金	世界遺産推進課	17
9月10日	土	文化財室	5
9月13日	火	畑野小学校	49
9月30日	金	世界遺産推進課	8
10月1日	土	世界遺産推進課	15
10月3日	月	赤泊小学校	18
10月8日	土	文化財室	8
10月9日	日	世界遺産推進課	30
10月13日	木	佐渡市観光商工課	7
10月19日	水	相川高等学校下見	2
10月20日	木	七浦小学校	22
11月4日	金	相川高等学校1年生	40
11月7日	月	ホテル万長研修生	1
11月11日	金	佐渡市地域振興課	2
11月27日	日	県・小田参事他	8
12月12日	月	金泉小学校4年生	12

2月1日	木	新潟大学・橋本先生他	3
2月20日	月	佐渡市総合政策監視視察	9
3月8日	木	佐渡中等教育学校	81
3月10日	土	文化庁視察	3
3月11日	日	産業考古学会	13
合 計			466

2.1.3 史跡佐渡奉行所跡

月日	曜日	団体名	人数
4月13日	水	羽茂中学校	22
4月19日	火	前浜中学校	10
4月21日	木	相川中学校	13
4月27日	水	新穂中学校	14
4月28日	木	金井小学校	62
5月6日	金	加茂小学校	47
5月7日	土	新潟大学留学生	127
5月12日	木	浦川小学校	10
5月15日	日	世界遺産推進課視察	7
5月17日	火	世界遺産推進課	6
5月19日	木	世界遺産推進課視察	8
5月22日	日	地域振興局入間市長他	12
5月30日	月	世界遺産推進課	6
6月1日	水	赤泊中学校	13
6月5日	日	世界遺産推進課	6
6月6日	月	相川幼稚園16人 河原田小学校37人	53
6月13日	月	地域振興課	5
6月23日	木	佐渡学センター4人・世界遺産推進課5人	9
6月28日	火	世界遺産推進課	11
6月30日	木	世界遺産推進課視察	6
7月1日	金	相川小学校	18
7月6日	水	世界遺産推進課2人・県広報官他2人	4
7月13日	水	新穂小学校	31
7月30日	土	地域振興課	4
8月19日	金	世界遺産推進課	19
8月22日	月	佐渡高等学校	14
9月10日	土	世界遺産推進課	9
9月13日	火	畑野小学校	50
9月27日	火	世界遺産推進課	10
9月30日	金	世界遺産推進課	8
10月1日	土	世界遺産推進課	31
10月7日	金	佐和田地区公民館事業31人 西事務所高齢者学級21人	52
10月8日	土	世界遺産推進課	7
10月9日	日	世界遺産推進課21人・文化財室30人	51
10月19日	水	世界遺産推進課	8
10月21日	金	両津小学校	46
10月23日	日	佐渡トキソーデーウォーク	10
10月29日	土	県教育庁文化行政課	2
11月2日	水	真野小学校	50
11月12日	土	行谷小学校	24
11月13日	日	お茶会241人・世界遺産散策会7人	248
11月14日	月	室蘭市議会・市職員1人	8
11月26日	土	佐渡市体育指導委員協議会	45
11月27日	日	NHK放送大学9人・県教育庁文化行政課1人	10

12月7日	水	世界遺産推進課	3
12月12日	月	金泉小学校	12
1月16日	月	世界遺産推進課	4
1月24日	火	世界遺産推進課下見	4
2月10日	金	新潟交通	9
2月15日	水	世界遺産推進課	21
3月8日	木	佐渡中等教育学校83人 相川幼稚園54人	137
3月11日	日	産業考古学会	14
3月17日	土	世界遺産推進課	16
3月18日	日	世界遺産推進課	16
3月19日	月	地域振興課	2
合 計			1,444

2.1.4 佐渡国小木民俗博物館

月日	曜日	団体名	人数
4月16日	土	新潟中央大学	163
4月21日	木	相川中学校 2年生総合学習	56
4月22日	金	内海府中学校 1年生島内探訪	2
4月28日	木	両津小学校 社会科	82
5月8日	日	新潟大学留学生	127
5月13日	金	河原田保育園園児・保護者他	172
5月18日	水	職業訓練校学習	10
5月27日	金	日本旅行	24
5月28日	土	3Bクラス会	19
5月29日	日	新潟トラベル	30
6月1日	水	下山小学校	40
6月2日	木	関川小学校	51
6月3日	金	小川小学校	29
6月6日	月	十番教室の会	25
6月7日	火	伝統文化と環境福祉	10
6月8日	水	同志会	20
6月8日	水	水原小学校	15
6月9日	木	朝日旅行	18
6月10日	金	燕東中学校	15
6月10日	金	栄北小学校	25
6月11日	土	胎内・笹岡小学校	60
6月11日	土	畑野保育園園児保護者他	38
6月12日	日	ナショナルチエン会	15
6月13日	月	豊田小学校	58
6月14日	火	NHK 撮影	7
6月14日	火	離島振興に係わる視察	3
6月15日	水	真野中学校 郷土学習	15
6月16日	木	新潟交通島内研修	40
6月17日	金	分田小学校	17
6月19日	日	黒崎自動車整備組合	16
6月21日	火	吉田北小学校	48
6月22日	水	栄小学校	16
6月23日	木	木山小学校	19
6月23日	木	笹口小学校	39
6月23日	木	大形小学校	40
6月24日	金	河崎小学校 社会科学習	25
6月25日	土	青梅小学校	25
6月25日	土	出雲崎教育委員会	15
6月28日	火	裾花小学校	118
6月29日	水	春日新田小学校	32
6月30日	木	糸魚川小学校	88
6月30日	木	川内小学校	16
7月1日	金	新通小学校	49
7月1日	金	関谷小学校	32

7月4日	月	小木小学校6年生小木の歴史学習	24
7月5日	火	豊野小学校	38
7月6日	水	猿橋小学校	32
7月10日	日	ジオパーク小木巡検	19
7月11日	月	新潟大学付属小学校	84
7月13日	水	青木島小学校	94
7月14日	木	枋尾東小学校	53
7月15日	金	青山小学校	28
7月21日	木	入間市市議	12
7月22日	金	栖吉小学校	72
7月28日	木	介護支援教室	10
7月29日	金	慶応義塾中等部	22
7月30日	土	あぐりスクール	36
8月2日	火	教育委員会東教育事務所	19
8月4日	木	駿河台大学	25
8月8日	月	三条市立栄北小学校	2
8月10日	水	BSN 撮影	2
8月22日	月	佐渡高校	80
8月23日	火	埋蔵文化財講座	22
8月27日	土	福島交通	19
8月28日	日	小泊公民館	25
9月8日	木	二葉小学校	45
9月9日	金	藤島小学校	55
9月14日	水	佐渡汽船観光研修	2
9月15日	木	大淵小学校	24
9月15日	木	金泉小学校	31
9月16日	金	村松小学校	21
9月17日	土	本間工務店	24
10月7日	金	姫津保育園	51
10月9日	日	大楠高校	44
10月13日	木	『飛べダコタ』ロケハン	6
10月14日	金	福島交通	36
10月14日	金	金井地公民館寿大学	51
10月15日	土	佐渡地区行政相談員研修会	20
10月16日	日	若葉観光	18
10月17日	月	新潟交通	25
10月18日	火	老人ホーム待鶴荘	27
10月19日	水	三島交流会	27
10月20日	木	福島交通	30
10月22日	土	ソーデーウォーク	121
10月23日	日	出会いサポート事業	28
10月26日	水	すみれ観光	22
10月27日	木	福島交通	32
10月28日	金	岸和田交通	24
10月28日	金	入間市市議視察	11
10月29日	土	農協観光	18
10月30日	日	フカサク観光	23
10月31日	月	くびき観光	22
11月14日	月	『飛べダコタ』ロケハン	10
11月15日	火	万長ホテル研修	3
12月5日	月	『飛べダコタ』ロケハン借用関係	
12月6日	火	『飛べダコタ』ロケハン借用関係	
12月15日	木	職業訓練校	7
1月27日	金	新潟交通島内研修	7
2月11日	土	新潟交通島内研修	18
2月14日	火	『飛べダコタ』ロケハン	
2月16日	木	小木小学校3年生 社会科学習	19
3月19日	月	佐渡中等	81
3月21日	水	羽茂保育園	42
合 計			3,507

2.1.5 海運資料館

月日	曜日	団体名	人数
4月14日	木	東京都NHKBS (ロケハン)	2
4月18日	月	佐渡高等職業訓練校	9
4月29日	金	長野市立青木島小学校3名(案内2名)	5
5月13日	金	小木小学校6年生	25
5月23日	月	立教池袋中学校	48
5月23日	月	寺泊小学校下見	2
5月23日	月	県立海洋高等学校海洋科学科	20
5月25日	水	県立海洋高等学校海洋科学科	20
6月24日	金	県及び世界遺産推進課文化財室視察	3
6月25日	土	出雲崎教育委員会	14
6月29日	水	真野地区公民館ことぶき講座	25
6月29日	水	新潟日報記者(真野地区公民館ことぶき講座同行)	2
7月13日	水	長野市立青木島小学校	101
8月23日	火	新潟県埋蔵文化財講座	22
8月30日	火	新大インターンシップ	3
9月8日	木	小木小学校ウォークラリーの下見	1
9月11日	日	朝日旅行 添乗員	1
9月13日	火	小木小学校全校ウォークラリー	130
10月9日	日	首都圏佐渡連合会(ふるさと里帰りキャンペーン)	64
10月14日	金	金井地区公民館	51
10月22日	土	佐渡トキソーデーウォーク2011	2
10月25日	火	ジオパーク推進室	5
10月26日	水	小木小学校6年生(総合学習)	25
11月7日	月	佐渡学センター・世界遺産推進課文化財室視察	5
11月16日	水	(有)かわうそ商会撮影資料確認	5
12月15日	木	佐渡高等職業訓練校(学習)	7
2月10日	金	佐渡高等職業訓練校(学習)	6
3月29日	木	学校教材の為に資料撮影	3
合 計			606

7月17日	日	韓国テレビ局の取材班	6
7月21日	木	福島大学教授	2
7月24日	日	浜中子供会	12
8月23日	火	県教育庁文化行政課職員他	20
8月23日	火	新穂柔道教室	12
8月24日	水	佐和田児童クラブ	17
8月30日	火	博物館実習生	1
9月6日	火	早稲田大学学生	9
10月3日	月	真野小学校	47
10月10日	月	トキタ映え市	約450
10月25日	火	新潟日報取材班	1
11月1日	火	新潟日報取材班	1
11月3日	木	東京海洋大学 加藤秀弘教授	1
11月8日	火	一関市教育委員会	2
11月16日	水	新穂中学校総合学習(裂織)	10
11月18日	金	長岡市立科学博物館 加藤氏	3
11月22日	火	二宮小学校	36
2月21日	火	畑野小学校3年生	28
3月2日	金	新穂小学校3年生	23
3月10日	土	文化庁職員	2
3月11日	日	産業考古学会	12
合 計			約1,079

2.1.6 佐渡植物園

月日	曜日	団体名	人数
10月27日	木	佐渡中等教育学校	9

2.1.7 新穂歴史民俗資料館

月日	曜日	団体名	人数
5月6日	金	加茂小学校	26
6月14日	火	飯小学校	26
6月15日	水	真野中学校	7
6月16日	木	牡丹山小学校	141
6月16日	木	三用小学校	8
6月16日	木	月岡小学校	25
6月21日	火	上山小学校	122
6月27日	月	鎧郷小学校	9
6月29日	水	関屋小学校	12
6月30日	木	蓮野小学校	8

2.2 出前授業・講演等

- ・4月19日（火） 佐渡市健康推進協議会両津支部
巡検案内
- ・4月28日（木） 真野小学校 大昔の暮らし
講義・火おこし体験教室
- ・6月17日（金） 河崎小学校3年生 鬼太鼓授業
- ・6月28日（火） 遠藤建設安全大会講演「両津港
の歩みと佐渡観光」
- ・7月2日（土） ときわ会OB総会講演「佐渡の貸
座敷」
- ・7月11日（月） 佐渡市健康推進協議会両津支部
巡検案内
- ・7月21日（木） 県子ども会連合相川案内
- ・8月2日（火） 畑野移動産業講座巡検案内
- ・8月19日（金） 市社会科教育研究会 河崎方面巡
検案内
- ・8月24日（水） 両津地区高齢者学級現地学習
- ・9月15日（木） いきいき探検隊久知八幡宮祭礼
案内
- ・9月19日（月） 両津地区敬老会講演「忘れられ
た祈り」
- ・9月21日（水） 河崎小学校3年生 久知八幡宮
祭礼授業
- ・10月11日（火） 両津実業倶楽部講演「両津港の
歩みと佐渡観光」
- ・11月7日（月） 一関市博物館小木（蓮華峰寺・
宿根木）案内
- ・11月8日（火） 佐渡市健康推進協議会両津支部
巡検案内
- ・11月12日（土） 金井生き活き塾「ふるさと芸能
体験」講演
- ・12月2日（金） 吾潟婦人学級郷土史講演「吾潟・
潟上あれこれ」
- ・1月28日（土） 佐渡職業訓練校（観光ガイド科）
佐渡学授業「佐渡の寺社について」
- ・2月8日（水） 佐渡職業訓練校（観光ビジネス科）
佐渡学授業「佐渡の寺社について」
- ・2月14日（火） 住吉いきいきサロン講演「住吉あ
れこれ」
- ・2月22日（水） 視聴覚ライブラリー教材映像「佐渡航
路の開発」撮影（河崎小学校）
- ・2月26日（日） 城腰公民館講演「両津港の歩みと

佐渡観光」

3 職場体験

本年度実績無し

4 学芸員実習受け入れ

- ・佐渡国小木民俗博物館
7月29日（金）～8月5日（金）
長岡造形大学 1名
- ・両津郷土博物館
8月29日（月）～9月2日（金）
中部大学 1名

IV 関係団体

1 佐渡市博物館協議会

佐渡市博物館協議会では、佐渡市教育委員会からの諮問により博物館・資料館の将来的なあり方を検討している。数多くの施設の整理統合を進めながら、限られた人員と予算の範囲内でいかに博物館を活性化し、将来に伝えていくかを議論している。

2 佐渡植物園協議会

昭和36年4月、羽茂町制施行による羽茂町立佐渡植物園の設立と同時に発足。

会長は園長である石塚邦夫(平成9年～)が務め、10名の協議会委員で構成されている。部署は「企画・温室部」、「椿・草本・木部」、「菖蒲・作業部」の3つ。

委員は年2回の協議会をはじめ、展示会、ボランティア草むしり、現地見学会等などにも積極的に参加している。

V 日誌抄

1 両津郷土博物館

※佐渡学センター・ジオパークを含む

- 5月11日(水) ジオパーク推進協議会設立総会
- 5月18日(水) 第1回佐渡市博物館協議会
(博物館のあり方についての答申)
- 6月2日(木) 鶴飼家文庫が国立国文学資料館へ
寄託搬出
- 6月8日(水) 博物館のあり方に係る世界遺産推
進課との打合せ
- 6月25日(土) 平成23年度ジオパーク市民講
座開講
- 6月29日(水) 博物館のあり方に係る県文化行
政課との打合せ(県庁)
- 7月15日(金) 新指定文化財公開展「佐渡国絵
図と佐渡金銀山絵巻」(~10月16日まで)
- 7月17日(日) 韓国テレビ局の取材
- 8月21日(日) 夏休み標本同定会(佐渡博物館、
理科センター、両津郷土博物館共催)(~22日
まで)
- 10月4日(火) 庁内保存文書受入開始(旧北中
収蔵庫に保管)
- 10月6日(木) 世界遺産、ジオパーク、佐渡学
連絡会議(以降継続)
- 10月10日(月) 渡邊剛忠佐渡学センター所長
瑞宝小綬章授章
- 11月3日(木) シンポジウム「佐渡の民俗文化」
開催
- 11月4日(金) シンポジウム関係者佐渡巡検
- 12月27日(火) 県指定文化財北條家医学関係
資料 寄贈保管受入
- 2月25日(土) ジオパークミニシンポジウム開
催
- 3月21日(水) 第2回佐渡市博物館協議会(博
物館のあり方についての意見交換等)
- 3月24日(土) 第2回佐渡学セミナー開催
- 3月25日(日) 文化庁主唱「歩き、み、ふれる
歴史の道」相川巡検協力

2 相川郷土博物館

- 4月1日(金) 奉行所展示のお雛様片づける
- 4月6日(水) 金泉小学校遠足下見
- 4月7日(木) 水上輪を取付ける
- 4月13日(水) 職業訓練校見学
- 4月16日(土) 小出小学校下見

- 4月18日(月) 加茂小学校下見、相川中学校下
見
- 4月19日(火) 前浜中学校見学
- 4月21日(木) 相川中学校見学
- 4月27日(水) 新穂中学校見学
- 5月20日(金) 山梨県笛吹市より鉛板返却
- 6月3日(金) NHK 撮影
- 7月28日(木) 奈良文化財研究所文書館にて調査、
資料貸し出す(7月29日まで)
- 8月1日(月) 京都科学、学芸員室にて鉛板レプ
リカ作成作業(~8月9日まで)
- 8月9日(火) 京都科学作業終了本物の鉛板を収
蔵庫へ戻す
- 8月10日(水) 鉛レプリカを奉行所へ運ぶ
- 9月12日(月) 新潟大学、斎藤先生研究室にて
出土遺物の調査(~9月16日まで)
- 9月13日(火) 畑野小学校見学
- 10月3日(月) 赤泊小学校見学
- 10月5日(水) 佐渡専門学校2人、収蔵庫への
棚搬入の下見
- 10月6日(木) 奉行所展示中のすり鉢を名誉町
民館へ運ぶ
- 10月7日(金) NHK 撮影
- 10月12日(水) すり鉢奉行所へ戻す
- 10月19日(水) TBS 撮影。相川高校下見
- 10月22日(土) 世界遺産推進課へ絵巻8点貸出
し
- 10月23日(日) 世界遺産推進課より絵巻返却、
- 11月4日(金) 相川高校1年生見学
- 11月7日(月) ホテル万長研修生見学
- 11月16日(水) 九州大学学生船簞笥の実測、撮
影
- 11月18日(金) 水上輪を取り外す
- 12月5日(月) 収蔵庫の石臼を新館へ移す
- 12月6日(火) 石臼、棚を収蔵庫へ搬入
- 12月12日(月) 金泉小学校4年生見学
- 12月19日(月) 映画グコタ関係者資料探し
- 2月14日(火) 奉行所へお雛様運ぶ
- 2月20日(月) 奉行所でお雛様飾り付け
- 2月22日(水) 高千小学校へ資料貸出し
- 3月8日(木) 佐渡中等教育学校見学
- 3月11日(日) 産業考古学会見学
- 3月12日(月) 高千小学校より資料返却
- 3月22日(木) 奉行所展示のお雛様を片付ける

3 相川技能伝承展示館

4月19日(火) 前浜中学校陶芸体験
 4月25日(月) 伝統文化と環境福祉の専門学校裂き織り体験
 4月27日(水) 新穂中学校陶芸体験
 4月28日(木) 金井小学校5年生裂き織り及び陶芸体験
 5月6日(金) 加茂小学校裂き織り及び陶芸体験
 5月9日(月) 伝統文化と環境福祉の専門学校裂き織り体験
 5月12日(木) 浦川小学校陶芸体験
 6月5日(日) 金泉小学校PTA2、3年生陶芸体験、金井吉井小学校PTA陶芸体験
 6月16日(木) 佐渡特別支援学校陶芸体験
 6月28日(火) 相川小学校陶芸体験
 7月13日(水) 新穂小学校陶芸体験
 7月14日(木) 海星幼稚園陶芸体験
 10月4日(火) 小木小学校5年生陶芸体験
 11月4日(金) 相川高校裂き織り及び陶芸体験
 2月24日(金) 七浦小学校陶芸体験
 3月8日(木) 佐渡中等教育学校陶芸体験

4 史跡佐渡奉行所跡

6月26日(火) 「佐渡さんぽ」撮影協力
 8月3日(水) 勝場の扣き石取り換え
 8月6日(土) 鉛のレプリカ作成作業
 8月10日(水) 鉛のレプリカ展示
 11月2日(水) コンドーシステム消防設備点検
 11月13日(日) お茶会
 1月4日(水) 畳の傷の調査
 2月8日(水) 震度5強の地震により女子トイレの洗面台横に亀裂。
 2月15日(水) ひな祭り準備(佐渡国小木民俗博物館より人形搬入)
 2月20日(月) ひな祭り準備(飾り付け)
 2月23日(木) ひな祭り準備(飾り付け)
 3月1日(木) ひな祭り(～3月20日まで)
 3月18日(日) お茶会
 3月25日(日) 京町通り散策

5 佐渡国小木民俗博物館

4月21日(木) 相川中学校2年生の総合学習、内海府中学校1年生島内探訪
 4月28日(木) 両津小学校社会科・総合学習
 5月8日(日) 新潟大学留学生来館
 5月13日(金) 河原田保育園園児・保護者来館
 5月18日(水) 職業訓練校学習

6月15日(水) 真野中学校郷土学習
 6月25日(土) 出雲崎教育委員会視察
 7月4日(月) 小木小学校6年生 小木の歴史学習
 7月10日(日) ジオパーク小木巡検
 7月21日(木) 入間市市議視察
 7月30日(土) 白山丸まつり前夜祭
 7月31日(日) 白山丸まつり本祭
 8月10日(水) BSN撮影
 8月23日(火) 埋蔵文化財講座
 9月15日(木) 金泉小学校社会科見学
 10月13日(木) 『飛ベダコタ』ロケハン
 10月14日(金) 金井地公民館寿大学、佐渡地区行政相談員研修会
 10月22日(月) ツーデーウォーク
 10月28日(金) 入間市市議視察
 11月14日(月) 『飛ベダコタ』ロケハン
 12月5日(月) 『飛ベダコタ』ロケハン
 12月6日(火) 『飛ベダコタ』ロケハン
 2月14日(火) 『飛ベダコタ』ロケハン
 2月16日(木) 小木小学校3年生 社会科見学

6 海運資料館

4月14日(木) NHKBS ロケハン船ダンス等見学
 4月18日(月) 佐渡高等職業訓練校ふれあいガイド養成講習
 4月21日(木) (株) 第一印刷所パンフレット作成のため撮影
 4月29日(金) 長野市立青木島小学校修学旅行下見
 5月1日(日) カ屋観光汽船修学旅行用写真撮影
 5月13日(金) 小木小学校6年生社会科見学
 5月23日(月) 立教池袋中学校入館、長岡市立寺泊小学校修学旅行下見、県立海洋高等学校海洋科学科入館
 5月25日(水) 県立海洋高等学校海洋科学科入館
 6月25日(土) 出雲崎教育委員会入館
 6月29日(水) 真野地区公民館ことぶき講座見学
 7月13日(水) 長野市立青木島小学校入館、佐渡市立両尾小学校教諭資料写真撮影
 8月22日(月) 県立博物館2名考古資料(土偶)搬出
 8月23日(火) 新潟県埋蔵文化財講座見学
 9月8日(木) 小木小学校全校ウォークラリーの下見

9月13日(火) 小木小学校全校ウォークラリー
見学
10月9日(日) 首都圏佐渡連合会見学(ふるさと里帰りキャンペーン)
10月14日(金) 金井地区公民館見学
10月22日(土) 佐渡トキソーデーウォーク
2011 見学
10月26日(水) 小木小学校6年生総合学習
11月16日(水) (有) かわうそ商会取材資料確認
12月15日(木) 佐渡高等職業訓練校見学
1月18日(水) 県立博物館2名考古資料(土偶)搬入
2月10日(金) 佐渡高等職業訓練校見学
3月11日(日) 文化庁調査官視察
3月29日(木) 学校教材の為の資料撮影

7 佐渡植物園

4月20日(水) 春の山野草展準備会
4月26日(火) 平成23年度第1回植物園協議会
5月6日(金) 春の山野草展会場準備
5月7日(土)・8日(日) 春の山野草展
6月9日(木) 第1回植物園友の会草刈り作業
6月12日(日) 花菖蒲初咲き(波乗舟)
6月24日(金) ウチョウラン展準備会
7月1日(金) ウチョウラン展会場準備
7月2日(土)・3日(日) ウチョウラン展
7月27日(水) 現地研修会「海府の天然巨木杉を訪ねて」講師中原英夫氏
8月11日(木) 第2回植物園友の会草刈り作業
9月7日(水) 花菖蒲園用土搬入
9月29日(木) 花菖蒲園耕耘
10月11日(火) 大文字草展準備会
10月21日(金) 大文字草展会場準備
10月22日(土)・23日(日) 大文字草展
10月27日(木) 佐渡中等教育学校総合学習 講師石塚園長
1月24日(火) 素浜海岸標柱、海岸占用更新
2月8日(水) 夜9時頃、地震発生。震度5強。植物園での被害なし。
2月20日(月) 平成23年度第2回植物園協議会
3月8日(木) 雪割草展準備会
3月23日(金) 雪割草展会場準備
3月24日(土)・25日(日) 雪割草展

8 新穂歴史民俗資料館

4月11日(月) 屋根修繕工事完成検査
4月14日(木) 新穂山車保存会 山王祭出演の着替えのため事務室使用
4月16日(土) 加茂小学校体験学習打ち合わせ
4月28日(木) 管理、受付業務打ち合わせ
5月31日(火) 管理、受付業務打ち合わせ
6月15日(水) 真野中学校見学
6月24日(金) 管理、受付業務打ち合わせ、福祉施設建設関連工事のため関係者が出入り、旧新穂公民館前にあったブロンズ像を撤去後、搬入、保管
7月17日(日) 韓国テレビ局の取材
7月24日(日) 浜中子供会 勾玉作り体験
7月27日(水) 管理、受付業務打ち合わせ
8月23日(火) 新穂柔道教室 勾玉作り体験 12人
8月24日(水) 佐和田児童クラブ 勾玉作り体験
8月26日(金) 管理、受付業務打ち合わせ
8月30日(火) 裂き織り作品展打ち合わせ
8月31日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)打ち合わせ
9月14日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
9月21日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
9月27日(火) 中学校駅伝大会
9月28日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
9月29日(木) 管理、受付業務打ち合わせ、裂き織り作品展打ち合わせ
10月8日(土) 裂き織り作品展 開始
10月10日(月) トキタ映え市
10月12日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
10月19日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
10月23日(日) 市民の方より菊の鉢植えを預かり、玄関に展示
10月25日(火) 新潟日報が裂き織り作品展を取材
10月26日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
10月28日(金) 管理、受付業務打ち合わせ
11月1日(火) 新潟日報が裂き織り作品展を取材
11月2日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
11月8日(火) 一関市教育委員会視察、裂き織り作品展終了
11月9日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)
11月16日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

- 11月18日（金） 長岡市立科学博物館 加藤氏資料調査、撮影
- 11月23日（水） 管理、受付業務打ち合わせ
- 2月21日（火） 畑野小学校3年生見学
- 2月23日（木） 管理、受付業務打ち合わせ
- 3月 2日（金） 新穂小学校3年生見学
- 3月10日（土） 文化庁職員視察
- 3月11日（日） 産業考古学会視察
- 3月26日（月） 収蔵庫にエアコン取り付け工事
- 3月28日（水） 受付席に電話機取り付け
- 3月29日（木） 管理、受付業務打ち合わせ

VI 佐渡に関する図書・論文 平成 23 (2011) 年分

書名、雑誌名 (論文名)	著書、編者、監修者名等	版元
アテビの会結成 10 周年記念誌	アテビの会	アテビの会
馬耕教師の旅「耕す」ことの近代 (佐渡関係所収)	香月洋一郎	法政大学出版局
おい世界遺産 佐渡金銀山夢追いものがたり 佐渡金銀山を「世界遺産」にー	逸見 修	新潟日報事業社
大佐渡石名天然杉ガイドマップ	新潟県佐渡地域振興局	新潟県佐渡地域振興局
海運資料館パンフレット (2011 年改訂版)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
鐘がなる町	金子房代	金子房代
『古代、中世の境界意識と文化交流』 〔「北辺」の境界佐渡について - 文献、考古、民俗学の視点から - 所収〕	(竹田和夫) 竹田和夫編	勉誠出版
熊野勸心十界曼荼羅 (後藤本、相川郷土博本、所収)	小栗栖健治	岩田書院
再発見!! 歩いて、聞いて、守ろう 佐渡金銀山 (小学生用)	新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室・佐渡市世界遺産推進課	新潟県、佐渡市
再発見!! 佐渡金銀山 (中学生用)	新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室・佐渡市世界遺産推進課	新潟県、佐渡市
『佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観』保存調査報告書	世界遺産、文化振興課、(株)セビマス	世界遺産、文化振興課
佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観 文化的景観保存計画	世界遺産、文化振興課	世界遺産、文化振興課
佐渡市の環境 平成 22 年度版	佐渡市環境対策課 環境企画係	佐渡市
佐渡市歴史文化基本構想 文化財総合的把握モデル事業報告書	佐渡市教育委員会	佐渡市教育委員会
佐渡南部の伝説	氏井信治	氏井信治
佐渡の殿様たちの子孫	山本 仁	山本 仁
佐渡、花めぐりマップ (パンフレット)	佐渡、花の島プロジェクト実行委員会	佐渡、花の島プロジェクト実行委員会
(続) 佐渡の殿様たちの子孫	山本 仁	山本 仁
写真集「佐渡鉱山」	五十嵐敏雄	新潟日報事業社
第 5 回佐渡世界遺産フォーラム 「佐渡ジオパークと世界遺産教育」	新潟大学旭町学術資料展示館、佐渡市教育委員会	新潟大学旭町学術資料展示館、佐渡市教育委員会
大地のみどころ 佐渡 ジオマップ (パンフレット)	佐渡市教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室)	佐渡市教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室)
トキ (fukan.com) (コミック)	矢口高雄	
トキよ 未来へ はばたけ ニッポニア、ニッポンを守る人たち	国松俊英	くもん出版
トレッキングマップ (パンフレット)	佐渡観光協会	佐渡観光協会
日本の近代を開いた産業遺産 推薦産業遺産 1985 ~ 2010 (佐渡鉱山と周辺の関連施設 所収) 編者: 大橋公雄、玉川寛治		産業考古学会
新潟県のすがた 2011	新潟県	新潟県
新潟県の名水 (平成 23 年 3 月改定) (大清水湧水、鰐清水 所収) (パンフレット)	新潟県	新潟県
新潟県立佐渡総合高等学校 師友 百年の歩み	新潟県立佐渡総合高等学校同窓会創立百周年記念事業実行委員会	新潟県立佐渡総合高等学校同窓会
新潟農林水産統計年報 平成 21 年から 22 年	北陸農政局 新潟農政事務所	新潟農林統計協会
新潟県謎解き散歩 (新人物文庫 762)	花ヶ前盛明編著	新人物往来社
人間力 - 第 83 回選抜高等学校野球大会出場記録	佐渡高校野球部を甲子園に送る会	佐渡高校野球部を甲子園に送る会
風姿花伝 (講談社学術文庫)	世阿弥 市村 宏: 全訳注	講談社
深浦学校物語 ~ 佐渡三崎の小学校の歩みが問いかけるもの ~	知本康悟	知本康悟
船筆筒の研究	小泉和子	思文閣出版
本間寅雄著作目録	斎藤武彦、斎藤純子、北見継仁	本間寅雄著作目録編集委員会
宮本常一とあるいた昭和の日本 12 関東、甲信越 2 (佐渡小木関係 所収)	宮本常一	農文協
八幡町の歩み	十日会	十日会
離島佐渡 第 2 版	島津光夫、神蔵勝明	野島出版
東京新潟県人会 百周年記念誌【保存版】 がんばれ 新潟! ふるさとへの熱きエール	東京新潟県人会百周年記念誌編集委員会	考古堂書店
日本の街道: 写真記録 奥州路 (奥州街道 / 羽州街道 / 佐渡路 / 奥の細道) (『日本の道 1』新版 (毎日新聞社昭和 48 年刊) の複製)	写真記録刊行会 編	日本図書センター
木喰仏を巡る旅	大久保憲次: 監修 高橋 実: 著	新潟日報事業社
佐渡國 想像の木本神社	大畠利良	

『Aff』42 (9) (トキと暮らす郷づくり 佐渡の・農業が育む生物多様性 (特集 農業、農・村の魅力を次世代に 世界農業遺産) 所収)	農林水産省大臣官房	農林水産省大臣官房
『越佐の地名』第 11 号 (『佐渡』という地名 所収)	長谷川 勲	新潟県地名研究会
『エール』第 6 号 (特集 佐渡の人形芝居 所収)	佐渡市	佐渡市
『応用生態工学会』14 (1) (佐渡島の河川のドジョウ密度を決定する要因とその保全策への応用 所収)	田中亘、鹿野雄一、山下奉海 他	応用生態工学会
『果実日本』66 (10) 佐渡における干し柿、あんぽ柿加工の現状 (特集 干し柿産業の明日を見る) 所収)	倉島みゆき	日本園芸農業協同組合連合 会
『柏崎市立博物館館報』第 25 号 (新潟・佐渡沿岸と沖合における大型サメ類の漂着、採捕記録再調 所収)	本間義治、箕輪一博、中村幸弘、 青柳 彰	柏崎市立博物館
『柏崎市立博物館館報』第 25 号 (新潟・佐渡沿岸と沖合における大型頭 足類の漂着、採捕記録再調 所収)	本間義治、箕輪一博、中村幸弘、 青柳 彰	柏崎市立博物館
『観賞』(第 3 回越佐地方史談話会の開催 所収)	中村義隆	新潟文化財観賞会
『環境科学』21 (3) (佐渡島と新潟県内陸の山岳におけるオゾン濃度の垂 直変化と季節変動 所収)	中田 誠、武 直子、仁平 聡 他	日本環境化学会
『季刊しま』No.225 (『しま』の原風景 第十三景 所収)	佐藤利夫	(財) 日本離島センター
『季刊しま』No.227 (『しま』の原風景 第十五景 所収)	佐藤利夫	(財) 日本離島センター
『季刊しま』No.227 (離島振興法の改正に向けて 佐渡市で「島の将来を考えるフォーラム」開催 所収)	本誌編集部	(財) 日本離島センター
『国立歴史民俗博物館研究報告』163 (佐渡市管地押調査更生地図の調整 状況とその特徴 (基礎研究 資料の高度歴史情報化と資料学的総合研究 明治地籍図の集成的研究 所収)	堀 健彦	国立歴史民俗博物館
『鴨東通信』秋 No.83 (船筆筭の面白さ 所収)	小泉和子	思文閣出版
『月刊テーマス』20 (10) (中国 世界を席卷する (4) 佐渡が中国の拠点になる?! 所収)	河添恵子	テーマス
『詩人会議』49 (11) (第 36 回夏の誌の学校 海を渡って佐渡へ 所収)	詩人会議	詩人会議
『財界にいがた』23 (7) (今夏、佐渡島へー新たな魅力発見の旅にでか けよう 所収)	財界にいがた	財界にいがた
『財界にいがた』23 (7) (観光資源の宝庫、佐渡島の針路に光差してー 佐渡汽船、小川健社長に佐渡の魅力と展望を聞く 所収)	財界にいがた	財界にいがた
『産業と環境』40 (8) (環境リポート トキが生活する 日本の本当の自然 と出会う佐渡 所収)	産業と環境	産業と環境
『市政』60 (7) (市政ルポ佐渡市 (新潟県) 人とトキが共生する島づくり『エ コアイランド佐渡』の実現ー佐渡市長 高野宏一郎 所収)		全国市長会館
『社会学年報』2011 No.40 (いま問われる「地域社会の再生」とは (縮 小する地方社会における地域再生ー持続可能な生計アプローチから見た佐 渡 所収)	吉原直樹	東北社会学会
『信濃』No.737 (63-6) (新潟県地方史研究の動向 所収)	渡部浩二	信濃史学会
『週刊 江戸』第 59 号 佐渡金山と江戸の無宿人	デアゴスティーニ	デアゴスティーニ
『週刊ふるさと百名山』No.48 ハ海山、守門岳、佐渡金北山	集英社	集英社
『食農と環境』(8) (食農と環境の最前線レポート 朱鷺を中心とした生き 物を育む農業への挑戦ー新潟県佐渡市の取り組み 所収)	山田崇裕	東京農大出版会
『駿河台大学論叢』(2010 年教養文化研究所第 2 回講演会報告 佐渡の観 光振興とスポーツツーリズム 所収)	坂下善英	駿河台大学
『石油技術協会誌』76 (1) (講演 流体包有物分析に基づく炭化水素の生 成、移動、集積の考察ー佐渡南西沖の例 ([平成 22 年度石油技術協会]地 質、探鉱部門シンポジウム 地層流体の移動と炭化水素の集積ー最新の予測、 評価技術) 所収)	門澤 伸昭、村本 宏司、中西 敏、 他	石油技術協会
『高志路』(380) (佐渡びとの神仏信仰と村落 所収)	佐藤利夫	新潟県民俗学会
『地球科学』65 (3) (新潟県佐渡島の小木半島に見られる枕状溶岩の内部 構造 所収)	寺崎紘一	地学団体研究会
『通信協会雑誌』第 1197 号 (わが街わが故郷 (21) 独特の文化が脈々と息づく佐渡 (新潟県) 所収)	山口幸子	通信協会
『トキめきプレス 佐渡 新潟日報』 No.18 (日曜随想 黄金の島を訪ねて⑤) 所収	小田由美子	新潟日報佐渡支局
『トキめきプレス 佐渡 新潟日報』 No.31 (日曜随想 鉦山 近代の歩み⑧) 所収	余湖明彦	新潟日報社佐渡支局
『図書館雑誌』105 (6) (ウチの図書館お宝紹介! (第 10 8 回) 新潟大 学附属図書館『佐渡金銀圖會』をめぐる取り組み 所収)	永井登志江、山城光生	日本図書館協会
『越佐の地名』第 11 号『達者という地名、、、なぜ、山椒太夫の舞台が佐渡 になったか 所収)	高橋敏路	新潟県地名研究会
『国立歴史民俗博物館研究報告』163 (佐渡地区における地籍図の所在状 況ー小泊区有文書を例として (基礎研究 資料の高度歴史情報化と資料学 的総合研究 明治地籍図の集成的研究 所収)	田中 聡	国立歴史民俗博物館
『自治体法務研究』(26) (特集 農商工連携と自治体) (条例制定の事例 佐渡 市地産地消推進条例 所収)	市橋 秀紀	ぎょうせい

『社会学年報』2011 No.40 (縮小する地方社会における地域再生－持続可能な生計アプローチから見た佐渡 所収)	佐藤康行	東北社会学会
『食農と環境』(8) (トキの試験放鳥直前の佐渡市のレクリエーション機能の評価 所収)	田中裕人	東京農大出版会
『新潟史学』第66号 (南北朝、室町期における佐渡守護と本間氏 所収)	田中 聡	新潟史学会
『新潟史学』第66号 (トキ保護と鳥類研究者川口孫次郎―野生トキ発見の旅から― 所収)	池田哲夫	新潟史学会
『新潟考古』第22号	新潟県考古学会	新潟県考古学会
『新潟考古』第22号 (佐渡島長木の「猿人文化」と長者ヶ平遺跡の「ナイフ形石器」 所収)	岡村道夫、沢田 敦	新潟県考古学会
『新潟考古』第22号 (木製農具「大足」について-再考- 所収)	細井佳浩	新潟県考古学会
『新潟考古』第22号 (2010年度の発掘調査動向 所収)	会誌編集担当者編	新潟県考古学会
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 開館10周年記念特集号-日本海文化の研究-	新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 (報告 開館10周年記念特別展「日本海の至宝」と総合研究「日本海文化の研究」 所収)	宮尾 亨	新潟県立歴史博物館
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 (開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念特別鼎談録「縄文、弥生、そして日本海」 所収)	小林達雄、金関恕、松本岩雄	新潟県立歴史博物館
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 (開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念特講演録「東北から見る日本海」 所収)	赤坂憲雄	新潟県立歴史博物館
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 (開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念特講演録「出雲神話と日本海」 所収)	小川直之	新潟県立歴史博物館
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 (研究ノート 日本海-雪国-と博物館 所収)	山本哲也	新潟県立歴史博物館
『新潟県考古学会連絡紙』第87号 (日本玉文化研究会第8回シンポジウム佐渡大会に参加して 所収)	小池勝典	新潟県考古学会
『新潟医学会』(佐渡島をモデルとした寝たきりの発症における多臓器関連の解明と予防に関する臨床疫学的研究 所収)	遠藤直人	新潟医学会
『新潟県水産海洋研究所研究報告』(3) (佐渡島沿岸で漁獲されたブリの脂質含有量の季節的変動と・ポータブル型近赤外分光分析装置による非破壊測定 所収)	的山 央人	新潟県水産海洋研究所
『新潟史学』65 (佐渡、岩屋山洞窟の宝篋印塔と中世の北東日本海物流 所収)	齋藤瑞穂	新潟史学会
『新潟文化』24 (県境を行く 過ぎ去った日々の痕跡 相川(佐渡市) 所収)	新潟日报社	新潟日报社
『新潟文化』第25号 (●風景への旅 峠と人と大佐渡山中 海府おんなの出稼ぎ道 (残雪の青粘峠と外海府入川) 所収)	新潟日报社	新潟日报社
『新潟県水産海洋研究所研究報告』(3) (佐渡島真野湾南部のガラモ場の分布および海藻相 所収)	石川 竜子、吉田 友和	新潟県水産海洋研究所
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第12号 開館10周年記念特集号―日本海文化の研究― 所収)	新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館
『新穂ふるさと新聞』第2号	新穂山車保存会	新穂山車保存会
『新穂ふるさと新聞』第4号	新穂山車保存会	新穂山車保存会
『地図中心』(463) (地形図を持ってジオツアー(13) 金の島 新潟県佐渡島(その1) 所収)	目代 邦康	日本地図センター
『農業と経済』77 (4) (ブックガイド 新潟日报社報道部著『朱鷺の国から―佐渡に希望を運ぶ鳥』 所収)	中村貴子	昭和堂
『俳壇』28 (3月号) (にっぽん俳句風土記―吟行ガイド(23) 佐渡、国仲 所収)	山本修巳	本阿弥書店
『福神』(15) (日蓮論(5) 佐渡の日蓮 所収)	島田裕巳	福神研究所
『ホシザキグリーン財団研究報告』(14) (新潟、佐渡沿岸と沖合における海生哺乳類の漂着、混獲、目撃記録再調 所収)	本間 義治、箕輪 一博、中村 幸弘	ホシザキグリーン財団
『ホシザキグリーン財団研究報告』(14) 新潟、佐渡沿岸と沖合におけるアカマンボウ目(紐体類)魚類の漂着、採捕記録再調 所収)	本間 義治、箕輪 一博、中村 幸弘	ホシザキグリーン財団
『ラメール』36 (海王丸を追って五島から佐渡へ、苦闘の撮影記 所収)	加藤庸二	日本海事広報協会
『歴史研究』第53号 (史談往来/北から南から 歴史の旅(21) 佐渡の金を運んだ北国街道 所収)	加藤ケイ	歴研
『新マンガ日本史』17巻 親阿弥、世阿弥]	朝日新聞出版	朝日新聞出版
『地図中心』(464) (地形図を持ってジオツアー(14) 外海府の海岸めぐり 新潟県佐渡島(その2) 所収)	目代 邦康	日本地図センター
『農村計画学会誌』29 (4) (新潟県佐渡島の耕作放棄棚田における下層植物の種多様性に影響を及ぼす要因 所収)	石塚 俊也、中田 誠、金子 洋平、他	農村計画学会
『市報さど』1月号 (西三川砂金山遺跡関係の詳細測量調査 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報広聴係	佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
『市報さど』2月号 (『金を中心とする佐渡鉱山の遺産群』が正式に世界遺産の国内候補となりました。 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報広聴係	佐渡市役所 企画情報課広報広聴係

『市報さど』3月号(「鶴子銀山跡が国史跡に指定されました!」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』3月号(「鶴子銀山跡が国史跡に指定されました!」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』4月号(佐渡を「世界ジオパーク」に 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』4月号(相川地区の文化的景観調査 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』5月号(「佐渡金銀山絵巻」が佐渡市指定文化財に指定されました 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』5月号(新連載 ジオパーク、推進日記 ①「佐渡が『ジオパーク』にふさわしい理由 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』6月号(「佐渡奉行所出土品」が重要文化財に指定されました 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』6月号ジオパーク、推進日記 ②「大地のしわ」でできた佐渡 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』7月号(佐渡金銀山絵巻をひも解く(1) 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』7月号(新連載 ジオパーク、推進日記 ③夏休みに行きたい! ジオおすすめスポット☆ 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』8月号(「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」が重要文化的景観に選定されます。 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』8月号(新連載 ジオパーク、推進日記④化石は語る 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』9月号(「佐渡金銀山絵巻をひもとく (2)-数内(坑道)の灯り-」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』9月号(「ジオパーク、推進日記 ⑤佐渡にもあった!高級石材」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』10月号(「佐渡金銀山絵巻をひもとく (3)-地下水を汲み出す-」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』10月号(「ジオパーク、推進日記⑥一寸の化石にも…」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』11月号(「佐渡金銀山絵巻をひもとく(5)-坑道を掘る-」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』11月号(「ジオパーク、推進日記⑦大地のひび割れ {断層}」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』12月号(「佐渡金銀山絵巻をひもとく(5)-坑道を測る-」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『市報さど』12月号(「ジオパーク、推進日記 ⑧第2回日本ジオパーク 全国大会に参加しました」 所収)	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係	佐渡市役所 企画情報課広報 聴係
『佐渡金銀山だより』Vol.3	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(国史跡追加指定 佐渡金銀山遺跡 鶴子銀山跡 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(国際シンポジウム関連イベント、佐渡金銀山講演会 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(調査、研究の報告 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(佐渡金銀山 文学碑を訪ねて①、パネル展示、説明会、祈念茶会 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.3(世界遺産推進基金の創設、これからの行事予定、H22年度、活動報告 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『島の新聞』第55号～66号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『佐渡郷土文化』No.125	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125(不思議なご縁の佐渡紀行(順徳院の跡を訪ねて) 所収)	大亦博彦	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125(真野湾南岸の海村-浜手と新町-山本半右衛門家の新町転住の背景- 所収)	佐藤利夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125(『佐渡のうた』と佐渡学雑感~文学性と資料性~ 所収)	加藤廣文	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125(文化で豊かな暮らしの島に 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125(「市民社会再生」-文化の有効性を探る-に参加して-東京大学文化資源学公開講座- 所収)	小林寿一郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.125((資料)外相有田八郎相川町町民葬挨拶-昭和四十年十月二十四日- 所収)	畔上てるみ	佐渡郷土文化の会

『佐渡郷土文化』No. 125 (山本桂と有田眞平 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (悪霊 北一輝異聞 (連載小説 第6回) 第一部 逆光の風 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (『花麝香』と人々の香気 - 山本修巳『句集 花麝香』を読む - 所収)	本間正幸	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (配所寺 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (野州初冬 所収)	平手ふじえ	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (良寛没後百八十年法要 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (芭蕉の足跡を辿る東山道の旅と日光 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (2010 年 日本の句集 50 山本修巳『花麝香』 所収)	藤本美和子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (観賞『花麝香』 所収)	田中倫子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (引き連れ廻れば諸国の春駒 (二) 所収)	渡辺 靖	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (父をたどるの記 (十三) - 『兵われは』戦地詠 その八 - 所収)	藤川 滋	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (佐渡の名主、本間七左衛門 (寛延一揆、椎泊) - 伊豆諸島、新島、若郷村 - 所収)	前田萬蔵	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (黄金街道 - 上納金の輸送について - 所収)	鈴木教治	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (義民本間作右衛門 所収)	渡辺威人	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (各地の俳句、短歌会 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (外相有田八郎相川町町民葬について 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (俳句観賞 所収)	林なつを	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (羽柴雪彦氏を悼む 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (俳句観賞 所収)	伊藤素広	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (山本修巳句集『花麝香』 所収)	小島岳青	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (- 俳書紹介 - 『花麝香』 山本修巳 所収)	津田早苗	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 125 (編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (新穂萬吉家と分家孫七 (本間黙齋) 家 - 真野新町 山本半右衛門家と - 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (父、羽柴雪彦の俳句とその人生 所収)	羽生雅春	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (『宗忍千句』校勘記 (その一) 所収)	大野温子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (佐渡をうたう - 鷲崎「鶯山荘文学碑林」除幕式 - 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (句碑建立に心を寄せて 所収)	中村智子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (悪霊 北一輝異聞 (連載小説 第七回) 第一部 逆光の風 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (佐越航海史要、拾遺 (五) 本間金五郎の航路関与 所収)	風間 進	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (につぼん俳句風土記 吟行ガイド 佐渡、国中 … 流入遺跡を中心に 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (父をたどるの記 (十四) - 『兵われは』戦地詠 その九 所収)	藤川 滋	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (春 潮 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (山本修巳先生の俳句集『花麝香』を鑑賞して 所収)	高橋和夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (山本修巳句集『花麝香』の誌心 所収)	鈴木しげを	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (山本修巳句集『花麝香』書簡 所収)	順不同 七田谷まりうす、堀口星眠、古賀まり子、今瀬剛一、倉田紘文、黒田杏子、栗田やすし、蒲原ひろし、蓮見7勝朗、中山敏彦、小澤謙三、佐藤をさむ、二本柳力彌、亀井雉子男、あかぎ倦鳥	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (引連れ廻れば諸国の春駒 (三) 所収)	渡辺 靖	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (続、拙栄堂軒過録 (来訪者人名録) (十四) - 私の家を訪ねられた人々 - 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (各地の俳句、短歌会 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (- 新刊紹介 - 『句集 花麝香』 山本修巳著 所収)	加藤 信一	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (新穂の俳人 本間斧剛 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (- 新刊句集紹介 - 句集『花麝香』 山本修巳 所収)	鈴木貴水	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (俳句観賞 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 126 (編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 127	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No. 127 (相川の松栄家について 所収)	佐藤利夫	佐渡郷土文化の会

『佐渡郷土文化』No.127(ふたりの文三 佐渡おけさが運んだ第二のふるさと 所収)	柳平則子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(羽茂の宮大工散見 所収)	中原英夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(妙宣寺五重塔建立の小説を書く久木綾子さん 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(佐渡の風の祭礼 所収)	田上善夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(盧元坊五十年忌追善集『黄?塚』解題-玉芽の序文を中心に- 所収)	大野温子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(俳書『黄?塚』復刻 所収)	田中倫子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(蘇鉄の家 所収)	倉田史子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(悪霊 北一輝異聞(連載小説 第八回 第一部 逆光の風ざ 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(佐越航海史要、拾遺(六)飛鳥行 所収)	風間 進	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(〈資料〉遊里 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(小木の女たち 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(山本修巳句集『花麝香』書簡 所収 所収)	順不同 瀬戸内寂聴、津村節子、松本健一、加藤定彦、堀切 実、徳田 武、末富明子、板垣俊一・松田昭三、浅島 誠、山岡喜美子、日野資純、矢羽勝幸、山谷ヤス子、生田秀昭、渡邊和一郎、亀田秀子、長棟光山子、藤井青咲、川村安宏、川村ハツエ・真水 ・淳、後藤松五郎、岩田 雅、小林研吾	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(〈資料〉佐渡のこよみ(山本修之助調査)-事件、人物、民俗行事 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(各地の俳句、短歌会 所収)	品川弥二郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(『佐渡人宛 名家尺牘集 所収)	藤井青咲	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(『世阿弥の佐渡で~校歌に託した思い~ 県立佐渡中等教育学校 校歌 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(良寛のうた 所収)	辻 美佐夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(会津ハ一の賀状と名刺 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(俳句鑑賞 所収)	藤井青咲	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(佐渡を詠んだ良寛の歌三首 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(次の世代へ 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.127(編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(開催主旨 所収)	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(開会の挨拶 所収)	萩 美津夫	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(三宅流作品制作の経緯について 所収)	鈴木正美	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(ドキュメンタリー映画『朱鷺島-創作能「トキ」の誕生』 所収)		新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(佐渡中等教育学校生徒 二年生五八による素謡 所収)		新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第11号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(真野中学校狂言クラブ生徒による鷺流狂言 所収)		新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部 プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究

『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(挨拶 所収)	臼杵國男	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(挨拶 所収)	關尾史郎	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(趣旨説明 所収)	萩 美津夫	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(世阿弥の時代 - 佐渡配流の背景を中心として 所収)	今谷 明	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(世阿弥と佐渡 - 『世阿弥晩年期』の再検討 所収)	天野文雄	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(佐渡の能楽 所収)	小林 貴	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(パネルディスカッション 所収)		新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(閉会の挨拶 所収)	池田哲夫	新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『佐渡、越後文化交流史研究』第 11 号 特集 新潟大学人文学部、佐渡市教育委員会連携協定調印記念 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」・(世阿弥と佐渡の能楽 資料集 所収)		新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト 佐渡、越後の文化交流史研究
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (刊行にあたって ごあいさつ 所収)	(渡邊剛忠) 佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (I 佐渡学センター設置までの経緯 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』創刊号 (II 管理運営の状況 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (III 事業内容)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (IV 関係団体 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (V 受贈、購入図書 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (VI 日誌抄 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (VII 佐渡に関する図書、論文目録 平成 21 (2010 年分) 所収)	佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『平成 22 年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センター年報』第 2 号 (編集後記 所収)	(池田雄彦) 佐渡市教育委員会 佐渡学センター	佐渡市教育委員会 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (実物をみるジオパーク活動)	(神蔵勝明)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (写真だより 台ヶ鼻 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (佐渡国小木民俗博物館の紹介 所収)	(宇治美德)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (佐渡学セミナー、開かれる 所収)	(須藤洋行)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター

『佐渡学センターだより』第 3 号 (文化財散歩道 「春日崎」の文化財 所収)	(滝川邦彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (掲示板 活動報告 「武蔵国分寺新能で、佐渡の能と狂言を披露」 所収)	(宇治美徳)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (ご案内と報告)	(宇治美徳)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 3 号 (編集後記)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』特集号	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』特集号 (特集 『佐渡災異誌』にみる佐渡の地震と津波の記録 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』特集号 (『佐渡災異誌』 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』特集号 (小木湊大地震の被害 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』特集号 (編集後記 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (感動に出会える旅を 所収)	(渡邊剛忠)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (吹上海岸石切場跡 (史跡 佐渡金銀山遺跡) 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (佐渡植物園の紹介 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (新指定文化財の紹介 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (文化財 (歴史) 散歩道 「揚浜式製塩用具 (北佐渡の漁撈用具)」 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (【博物館協議会の動向】 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (平成 23 年度企画展のご案内 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (新寄託資料紹介 所収)		佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第 4 号 (編集後記 所収)	(池田雄彦)	佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
『佐渡金銀山だより』Vol.4	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (重要文化的景観選定 佐渡西三川の砂金山の農山村景観 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (国重要文化財指定新潟県佐渡奉行所跡出土品 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (首都圏向け佐渡金銀山講演会 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (世界遺産連続講座 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (佐渡金銀山 文学碑を訪ねて② 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (鶴子銀山関係遺跡発掘調査速報 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (寺院建造物調査 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (史跡保存管理計画策定委員会 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (佐渡金銀山調査指導委員会文化的景観専門分野会議 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (佐渡金銀山の価値を補完する文化財一佐渡金銀山絵巻一 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.4 (平成 23 年度 今後のイベント情報 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol. 5	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol. 5 (片辺、鹿野浦海岸石切場跡が「国史跡に指定!!」 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol. 5 (佐渡西三川の砂金山由来の農村景観重要文化的景観選定記念事業 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol. 5 (講演会「平泉」に学ぶ世界遺産への道 高潮対策事業地元説明会 佐渡金銀山文学碑を訪ねて③ 所収)	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市

『佐渡金銀山だより』Vol.5〈日伊文化財保護協力事業・世界遺産を目指す台湾金瓜石鉱山を視察 新潟県世界遺産登録推進議員連盟の佐渡金銀山視察 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.5〈委員会報告 史跡佐渡金山遺跡保存管理計画策定委員会 佐渡金銀山調査指導委員会 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.5〈調査・研究の報告 鶴子鉱山代官屋敷跡現地説明会、五社屋山地区試掘調査 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.5〈金銀山ニュース 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.5〈仲間になりませんか 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.5〈平成23年度活動状況 所収〉	新潟県、佐渡市	新潟県、佐渡市
『佐渡地域誌研究 第9号』	佐渡地域誌研究会	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(〈特別寄稿 県政との狭間で揺れる離島佐渡の再生論～超現代史の視点から、佐渡市民に伝えたいこと 所収〉)	小菅徹也	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(相川金銀山ロードの住人たち(前編) 所収)	小林祐玄	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(石垣群の街、相川 ～石積み模様のとりになっていて～ 所収)	仲田善夫	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(相川風評譚「坂の町、相川 ～石段と坂～10話(前編) 所収)	古藤宗雄	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(風土と学校の物語 所収)	知本康悟	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(佐渡教会をめぐる人々～佐渡プロテスタント伝道の百年～(その8))	渡辺信吾	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(世界遺産暫定一覧記載資産「金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群」 所収)	下谷 徹	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(寺子式目 所収)	山本 健	佐渡地域誌研究会
トキの島から(佐渡の「総合的な学習の時間」 佐渡学として)		佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(探求的な学習を通してふるさと相川を愛する子供を育てる 所収)	佐渡市立相川小学校 校長 矢田親成	佐渡地域誌研究会
	6年学年担任 栢森大樹	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第9号』(真野中学校の「佐渡学」について 所収)	佐渡市立真野中学校教頭 渡部泰治	佐渡地域誌研究会

(資料提供 北見継仁)

編集後記

佐渡学センター年報第3号を無事発刊できますことに、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

平成23年度は、佐渡学センターの組織上で大きな変革がありました。これまで、佐渡学センターでは、佐渡を「日本ジオパーク」そして「世界ジオパーク」の承認を得るための推進事業が大きな柱の一つでしたが、より効率的にこの事業を推進させるために、ジオパーク推進室が佐渡学センターから独立しました。これにより、佐渡学センターは、本来の業務内容、特に博物館事業の充実に重点をおくことができるようになりました。その一つが、企画展の再開催でした。ジオパーク推進室の独立を機会に、限られた人数で、両津郷土博物館・相川郷土博物館・相川文書館・相川技能伝承展示館・史跡佐渡奉行所跡・佐渡国小木民俗博物館・千石船展示館・海運資料館・幸丸展示館・佐渡植物園・新穂歴史民俗資料館・金井歴史民俗資料収蔵庫・明治記念堂等の管理・運営をする厳しさを感じながら、優先すべき事業を所員でじっくり話し合った年でもありました。

また、平成23年3月の東日本大震災後に発生した福島県原発事故の影響で、会津若松方面に修学旅行を計画していた県内の多くの小学校が、佐渡にコース変更したこともあり、体験活動が可能な佐渡学センター所管の博物館・資料館が秋口まで予約で埋まり、多忙であったことも特筆すべきことでした。

このような時代の流れを、この年報から汲み取っていただければ幸いです。

(池田雄彦)

佐渡学センター年報 第3号 (平成23年度版)

- 発行日 平成24年7月17日
- 編集・発行 佐渡学センター
〒952-0021
新潟県佐渡市秋津1596 両津郷土博物館内
TEL 0259-23-2100
- 電子出版 佐渡学センター

<http://www.sadocity.niiigata.jp/sadobunka/denbun/>

- 非売品
-